NO ５１９　　令和５年１１月６日(月)

3学年だより

夢の宅配便

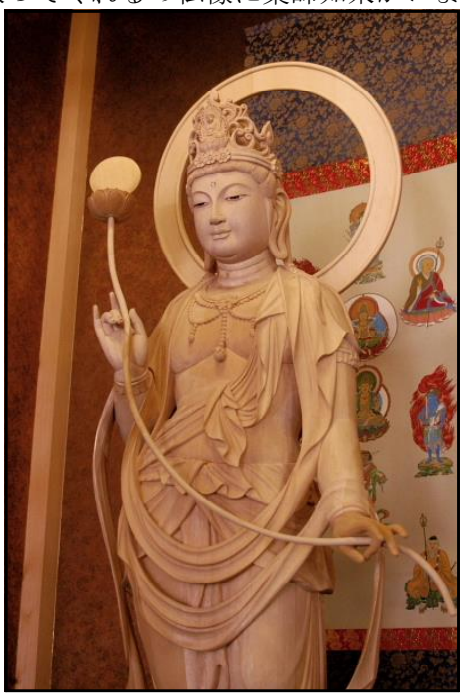
3年学年主任
水野　喜代治

「秋の日は釣瓶(つるべ)落とし」

１１月になって、下校時刻が１６時３０分となりました。１５時頃から日差しに力がなくなり、あっという間に日が暮れてしまいます。１７時には夕暮れとなります。井戸に落ちる釣瓶のように太陽が沈んでしまうのです。秋の夕暮れは、夕焼けを楽しむ間も与えてくれません。なんとなく寂しい気持ちになります。

釣瓶は、井戸水をくみ上げる桶です。深い井戸の底にたまった湧水を桶を落としてくみ上げます。その桶が落ちるときのスピードと同じような速さで日が沈むということです。秋は夜の時間が長いです。家庭での学習の時間を充実させてください。また、秋の澄み渡った夜空に浮かぶ月はとてもきれいです。月の光はとても柔らかく優しいです。太陽の光は強くて、肉眼で直視することは難しいです。力強い光で、激しく一方的で太陽の光を好んで見る人は少ないと思います。しかし、月の光は、優しく、月明りを見ると心がなごみます。

仏教では、人の心の悩みや苦悩そして病気などから救ってくれるの仏像に薬師如来がいます。奈良時代に平城京の都で恐ろしい病、天然痘が流行して、多くの死者が出ました。聖武天皇は仏教の力で平和な日常を取り戻そうと、年号を「天平」とし、全国に国分寺の建立を命じました。相模の国（神奈川県）には海老名に国分寺が立てられました。国分寺に置かれた仏像は「薬師如来」でした。薬師如来は病や心の悩みを取り除いてくれます。薬師如来は、日光菩薩と月光菩薩を連れています。太陽の強い光と月の優しい光で人々の心の不安や悩み病気を癒してくれるのです。奈良時代の人々は流行病からの恐怖や不安から逃れるために、日光菩薩と月光菩薩に手を合わせたと思います。秋の夜長に夜空に月が出ていたら、月明りを感じてみてください。月の光は月光菩薩のそのものです。慈悲深い光にきっと心がなごむと思います。



（月光菩薩）

夜道に……、月が出ていたら月の光の中に月光菩薩を感じてみてください。